

CADEWA Smart V3.0

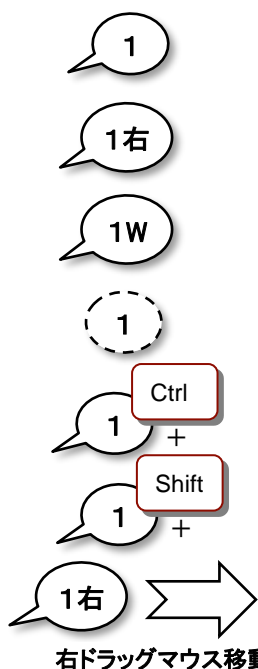
～電気部材変換編～

目次

DXF図面のオブジェクトをCADEWA部材に変換してみましょう

1. 開く
2. 名前を付けて保存
3. 部材変換
4. 上書き保存

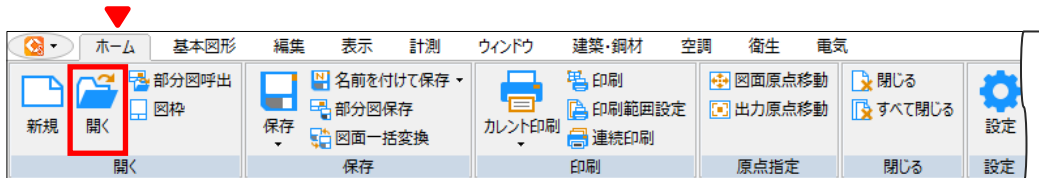
マウスの使い方

- 
- 1
- 1右
- 1W
- 1
- 1 + Ctrl
- 1 + Shift
- 1右 →
- 右ドラッグマウス移動
- …指示位置をクリック（左クリック）します。
 - …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。
 - …指示位置をダブルクリック（左2回クリック）します。
 - …マウスを表示位置に近づけます。
 - …[Ctrl]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
 - …[Shift]キーを押しながらクリック（左クリック）します。
 - …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。

1. 図面を開きましょう

Operation

開く



使用する図面は
Smart_30_E06_電気部材変換
開始.dwg

① 図面を選択します

② 開く



③ 「三次元オブジェクトを読み込む」、
「ブロックをグループに分解して読み
込む」をOFFにします

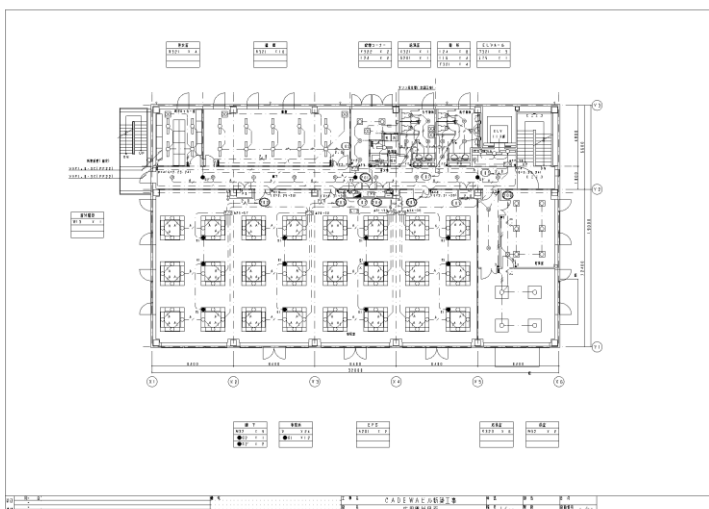
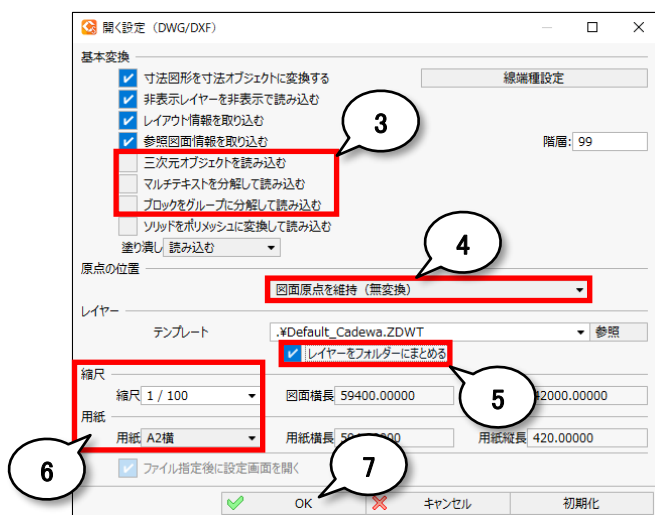
④ 原点の位置を「図面原点を維持
(無変換)」に設定します

⑤ 「レイヤーをフォルダーにまとめる」を
ONにします

⑥ 縮尺と用紙を変更します

*縮尺: 1/100
*用紙: A2横

⑦ OK

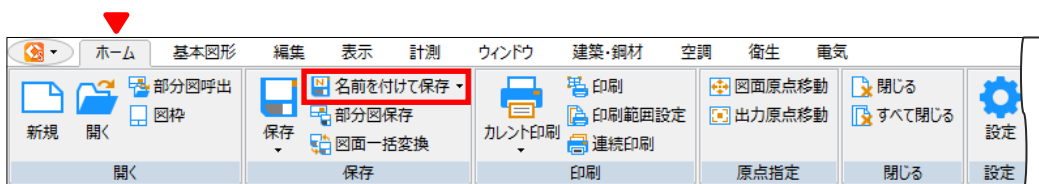


2.

図面を保存しましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_30_E06_電気部材変換開始.ZDW

- ② 保存

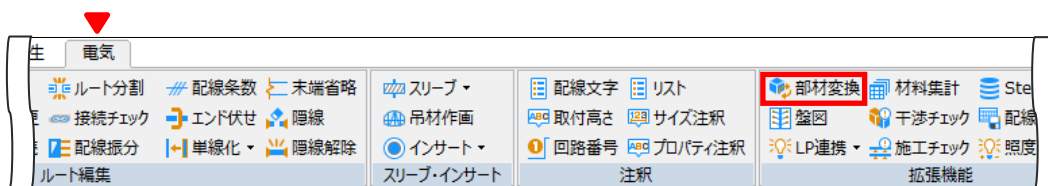


3.

汎用線を電気部材のオブジェクトへ変換しましょう

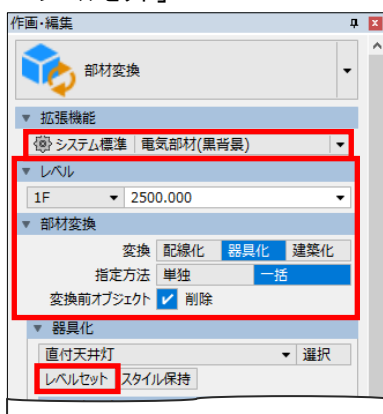
Operation

部材変換



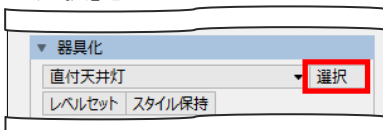
① 器具の部材変換を設定します

- *プリセット: 電気部材(黒背景)
- *レベル: 2500
- *変換: 器具化
- *指定方法: 一括
- *変換前オブジェクト: 「削除」ON
- *「レベルセット」OFF



② 変換後の器具を設定します

- *「選択」をクリック



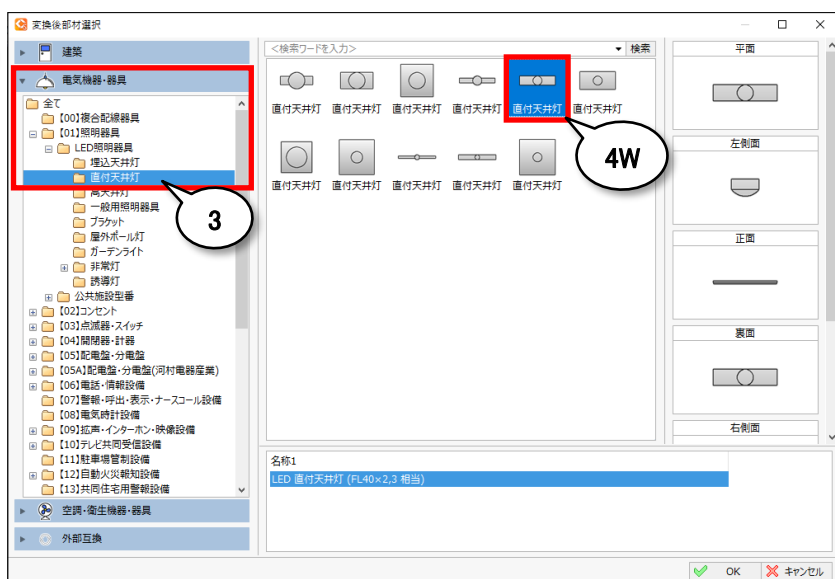
③ 器具を選択します

- *「電気機器・器具」-「【01】照明器具」
-「LED照明器具」-「直付天井灯」

④ W「直付天井灯」を選択します

⑤ 変換後の配置角度やスタイル等を設定します

- *角度: 「最長線分優先」ON



① レイヤーを設定します
*「電気設備」-「機器・器具」-
「電力設備」-「電灯設備」

② 選択方法を「四角」に変更します

③ 変換するオブジェクトを選択してください

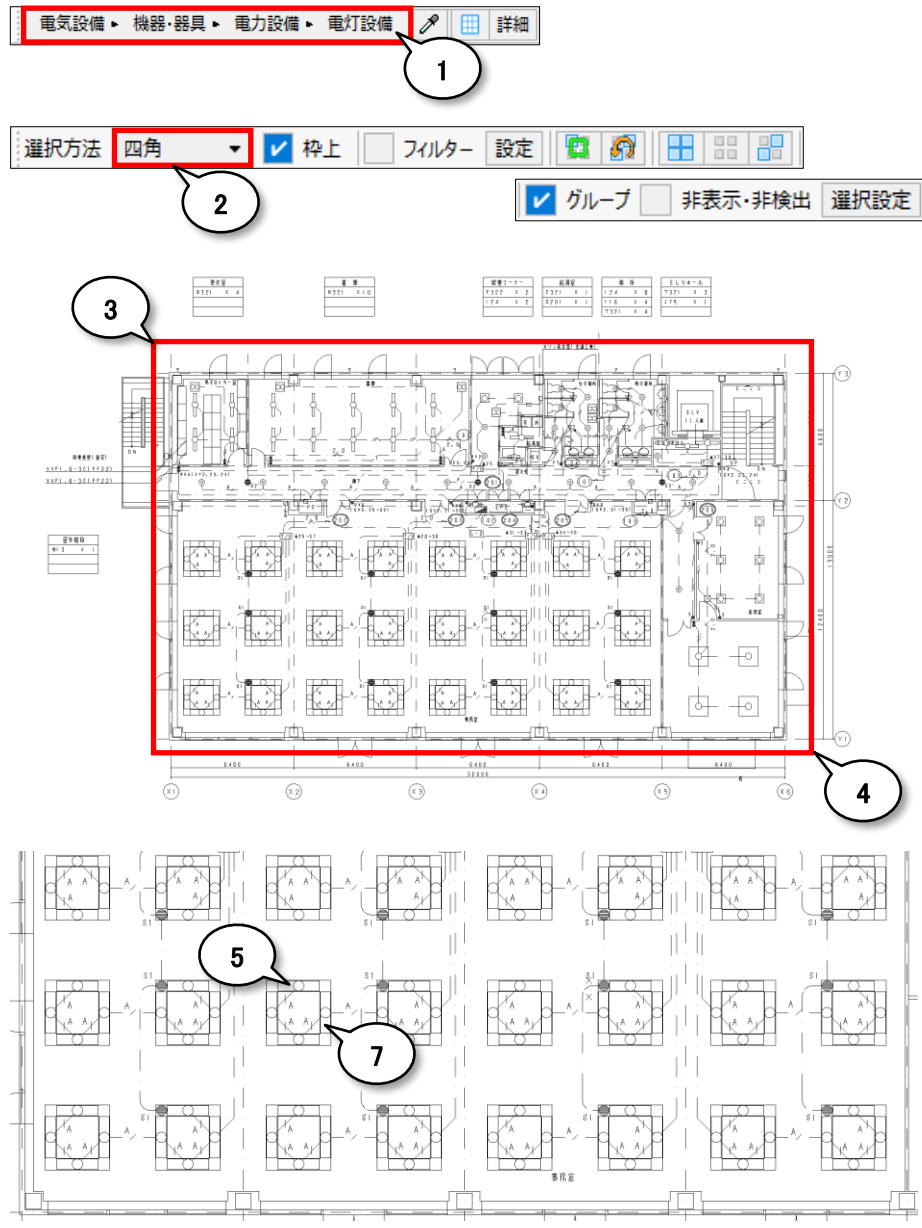
④ 範囲選択の終点を指示してください

⑤ グループを指示してください
*横向き器具を指示

⑥ 右 選択完了

⑦ グループを指示してください
*縦向き器具を指示

⑧ 右 選択完了

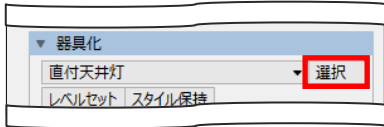


右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

プルボックスへ変換します。

- ① 変換後の器具を設定します
*「選択」をクリック

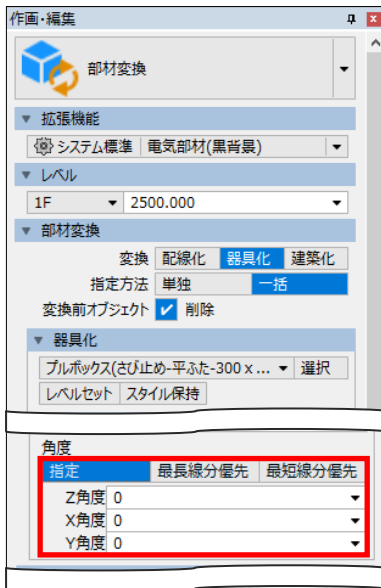


1

- ② 器具を選択します
*「電気機器・器具」-「【29】プルボックス」

- ③ W 名称1を選択します
*プルボックス(さび止め・平ふた
300x300x300)

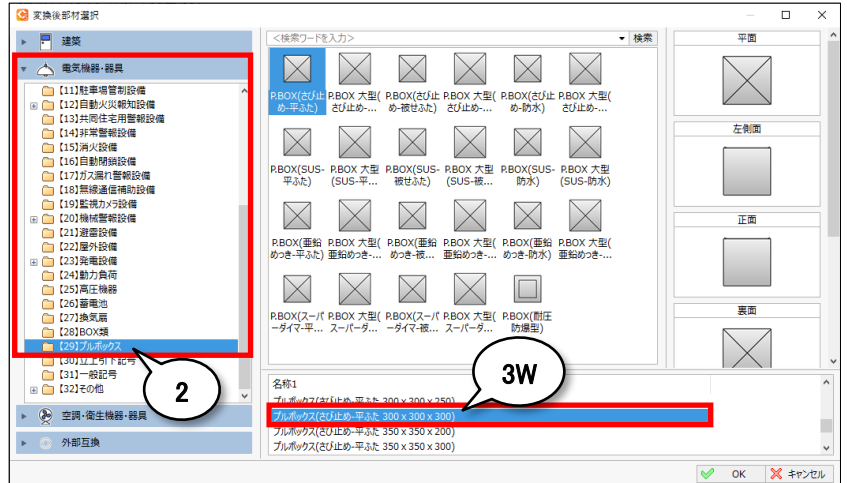
- ④ 変換後のレベル、配置角度を設定します
*角度:「指定」ON
*Z角度:0
*X角度:0
*Y角度:0



4

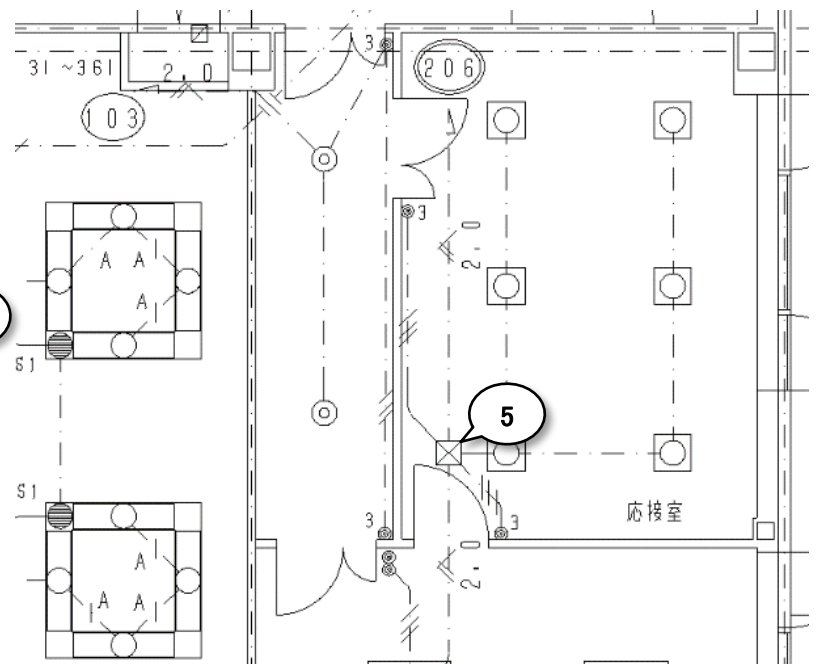
- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください

- ⑥ 右 選択完了



2

3W



6右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



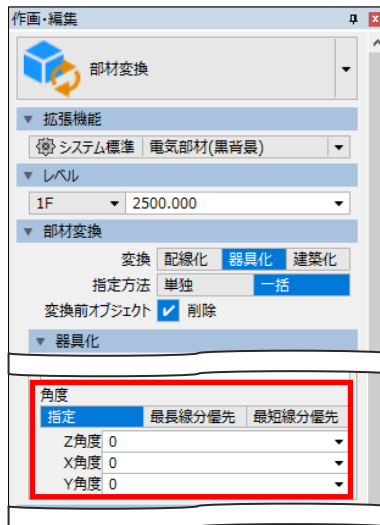
器具化について

- 変換対象

器具化(単独)の変換対象: 点、線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト
器具化(一括)の変換対象: 円、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト
(※器具化の対象となる拡張オブジェクトは、建築を除くCADEWA Smartで作画した機器器具や配線・配管・ダクトなどのルート部材、表、雲、3D図形、ブロックなどが該当します。)

「一括」で意図した変換ができない場合は「単独」での変換をお試しください。

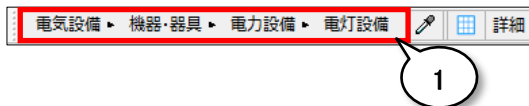
- 角度



「指定」ONの場合、Z角度、X角度、Y角度に入力した角度で配置します。
「最長線分優先」ONの場合、変換対象要素の最長線分の角度を優先して配置します。
「最短線分優先」ONの場合、変換対象要素の最短線分の角度を優先して配置します。

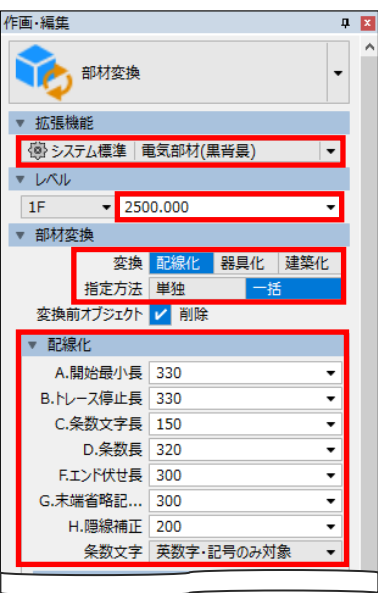
- 変換後レイヤー

変換した器具はレイヤーパネルで指定した入力レイヤーへ作画します。
変換する際は、入力レイヤーを指定してください。



① 配線の部材変換を設定します

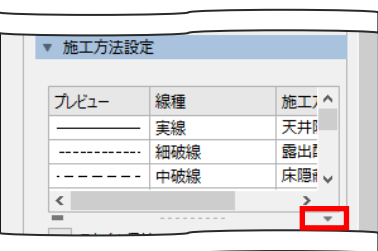
- *プリセット: 電気部材(黒背景)
- *レベル: 2500
- *変換: 配線化
- *指定方法: 一括
- *A.開始最小長: 330
- *B.トレース停止長: 330
- *C.条数文字長: 150
- *D.条数長: 320
- *F.エンド伏せ長: 300
- *G.末端省略記号長: 300
- *H.隠線補正: 200
- *条数文字: 英数字・記号のみ対象



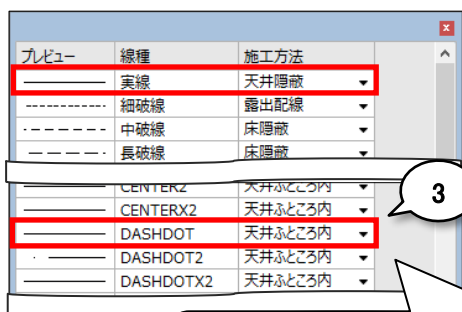
1

② 施工方法設定を確認します

- *右下「▼」をクリック



2



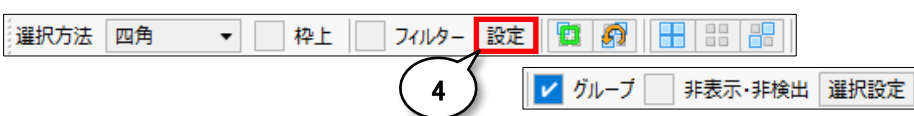
3

線種ごとに変換後の施工方法を
設定します

③ 施工方法を設定します

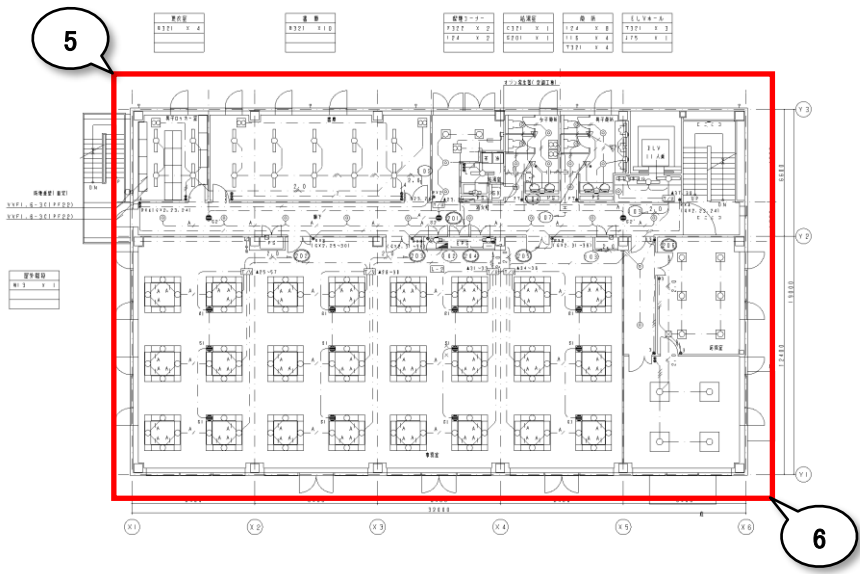
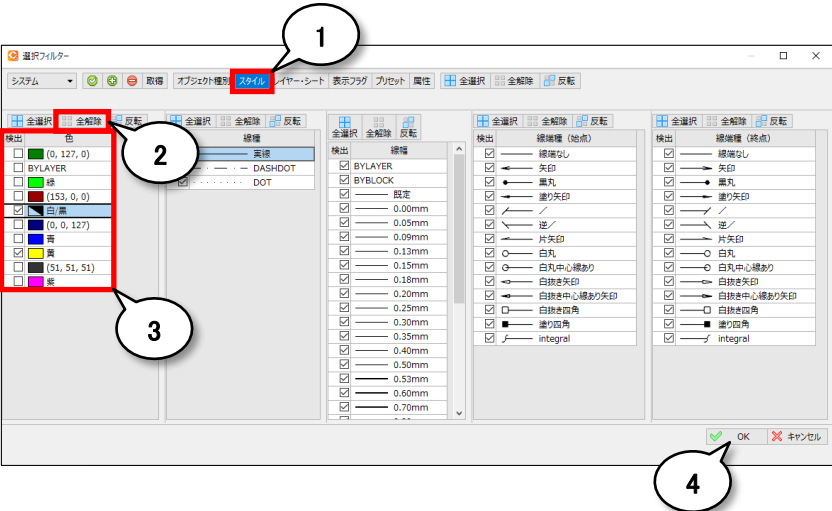
- *実線: 天井隠蔽
- *DASHDOT: 天井ふところ内

④ 「設定」ボタンをクリックします

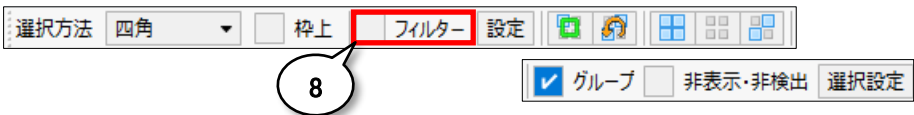


4

- ① 選択フィルターを設定します
*「スタイル」をON
- ② 色設定の「全解除」ボタンをクリックします
- ③ 色検出を「白/黒」、「黄」のみONにします
- ④ OK
- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください
- ⑥ 範囲選択の終点を指示してください
- ⑦ 右 選択完了
- ⑧ 選択フィルターをOFFにします



7右 → 右ドラッグ移動により、選択を完了します。
[Enter]キーまたは、[OK]ボタンクリックでも確定します。





配線化について

・ 変換対象

配線の変換対象: 線、円弧、楕円弧、ポリライン、スプライン
配線条数の変換対象: 線、円弧、文字、ポリライン、スプライン
省略記号の変換対象: 線、円弧
エンド伏せの変換対象: 線、円弧、楕円弧

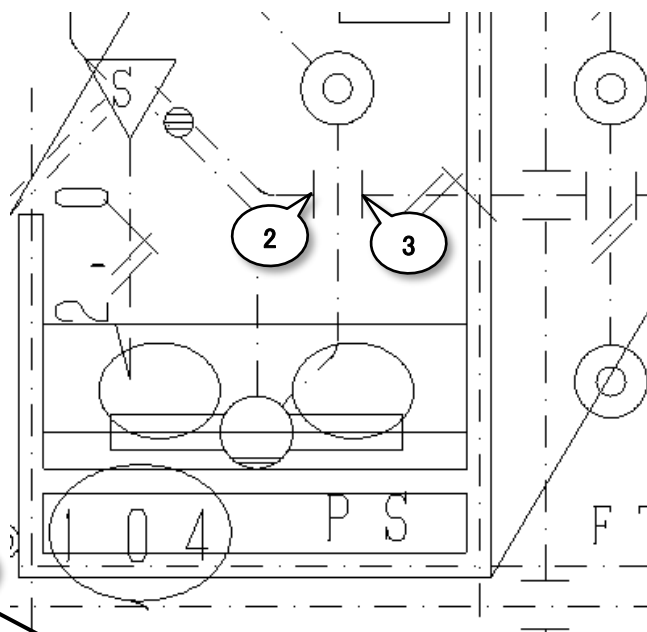
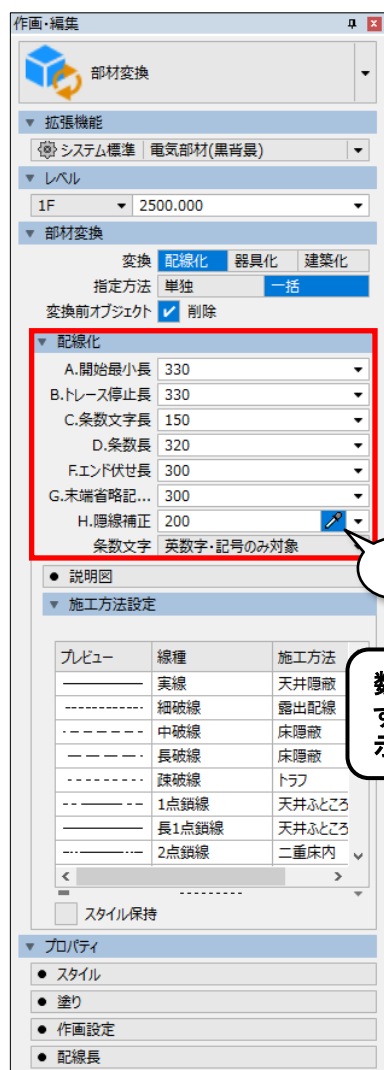
元図がDWGファイルの場合、ブロック要素は配線化対象になりません。
「分解」コマンドで線や円弧に分解してから配線化を行ってください。

・ 変換後レイヤー

配線化されたものは、変換元のオブジェクトと同じレイヤーに入ります。
レイヤーを移動したい場合は、レイヤー分解で移動するか、プロパティのレイヤー情報を変更します。
(レイヤー分解での移動方法は「図面互換編」を参照ください。)

・ 「配線化」設定について

条数化する対象長さや隠線記号化する対象長さなど、配線化する際の各種対象長さを設定します。
設定にはスポイトが使用できます。



数値入力欄にマウスを移動すると、スポイトマークが表示されます。

距離 200

距離 × 200

距離 y 0.17

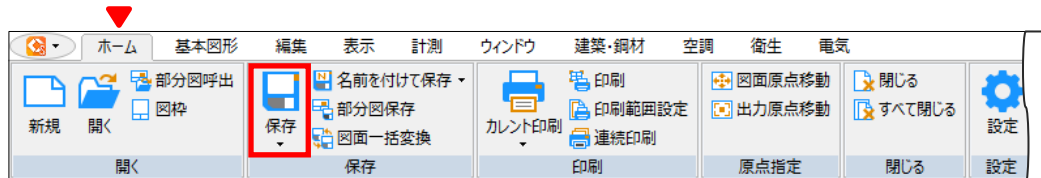
距離 z 0

4.

図面を上書き保存しましょう

Operation

上書き保存



① OK

*既存のファイルを確認

